

電圧制御発振器「VCO-1C」使用上の注意

「VCO-1C」の使用においては次の点に御注意下さい。

◆ 【ひずみ率の調整】

VCO-1C型はカタログに記載の回路図の通り、C1、C2の外付けコンデンサを使用しますが、そのコンデンサの種類、基板上の配線、部品配置等により、ひずみ率が悪化することがあります。

そのような時には8番ピン-9番ピンの間に数pFのコンデンサを接続することによって改善することができます。

実用上は10pF程度のセラミック・トリマを使用するのが便利です。

不明な点がありましたら下記にお問い合わせ下さい。

〒164 東京都中野区中央5-4-24

第5小河原ビル501

TEL 03-5340-3020 (代) FAX 03-5340-3023

◎ひずみ率に関し（「VCO-1C」使用上の注意の補足）

外付けCfと発振出力が近接すると発振強度が上がり、ひずみ率も悪化いたします。

（特にHバンドで）

8 - 9ピン間に数pのコンデンサーを付けることで、この結合をキャンセルし、高帯域にわたって低ひずみ化（0.1%以下）することができます。

[定格（補）]

◎出力振幅	約5.6 Vrms（メイン出力）
◎出力DCオフセット	±80 mV以内
◎制御電圧（Ec）対出力DC変動	80 mV以内
◎Ec対出力振幅変動	±0.2 dB以内（補正前）
◎Ec対発振周波数リニアリティー	±1%以内（補正前）